

公益社団法人 日本動物園水族館協会(JAZA) 種保存会議シンポジウム

動物園水族館でつなぐ命

—自然と共生する世界を目指して—



日時：2019年11月24日（日）13:30～16:30

場所：札幌パークホテル 3Fパークホール

主催：(公社)日本動物園水族館協会(JAZA)、札幌市円山動物園

後援：環境省北海道地方環境事務所、経済産業省、(公財)日本博物館協会、

(公社)日本植物園協会、文化資源学会、北海道、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

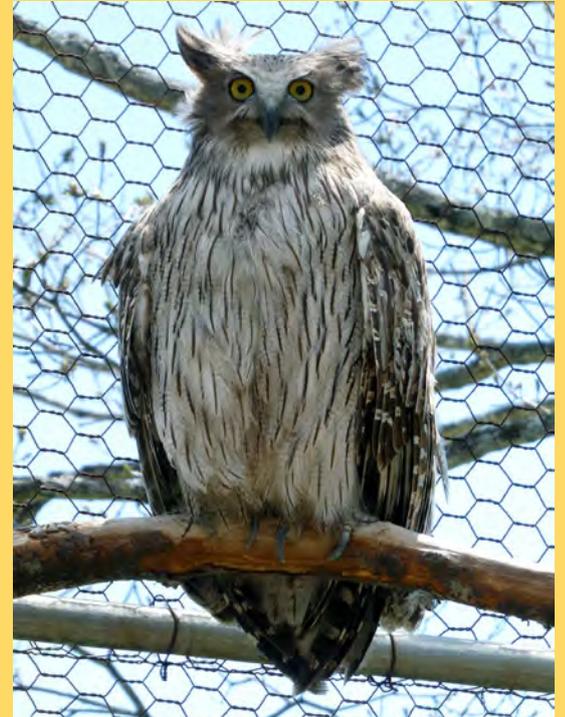
動物園水族館でつなぐ命

－自然と共生する世界を目指して－

動物園水族館には種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーションという4つの社会的役割があります。このうち種の保存は当初、希少動物を飼育下で繁殖させることにより、自然に負荷をかけることなく展示を維持することを目指してスタートしました。しかし、各地で自然が破壊され、多くの生き物が危機的状況になるなか、種を存続させるために生息地以外で保存する「生息域外保全」の役割も担うようになってきました。更に、種によっては飼育下で繁殖した個体を自然に放すことも行われ始めています。ただ、自然で少なくなってしまったものを、再度そこで暮らせるようにするためには、生息地での保全活動が重要で「生息域外保全」と「生息域内保全」が一つの計画として行われる必要があります。これは、これまでのように人の都合で一方向的に開発するのではなく、私たちが如何に自然と共生していくかということでもあります。

「自然と共生する世界」は、2010年に名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において採択された長期目標（VISION）です。将来に亘って生物多様性が保全され、私たちが利用し、恩恵を受け続けられることを目指しているもので、未来への約束とも言えます。

このシンポジウムでは、自然と共生する世界を目指すために、動物園水族館ができることを考えます。



2019年11月24日（日） 13:30～16:30 場所：札幌パークホテル 3Fパークホール

13:30 開催挨拶・趣旨説明

伊勢 伸哉 (JAZA副会長 小樽水族館 館長)

13:40 基調講演 「環境省の保護増殖事業」

綿貫 宏史朗 (環境省自然環境局野生生物課
希少種保全推進室 保護増殖係長)

14:00 事例報告

① 「ニホンライチョウ」

秋葉 由紀 (富山市ファミリーパーク 主査)

② 「シマフクロウ」

藤本 智 (釧路市動物園 園長補佐)

③ 「ゼニガタアザラシ」

勝俣 浩 (鴨川シーワールド 館長)

④ 円山動物園で新設したゾウ舎について

小林 真也 (札幌市円山動物園飼育展示課)

15:15 パネルディスカッション

パネリスト

綿貫 宏史朗 (環境省)

佐藤 哲也 (JAZA生物多様性委員会委員長
那須どうぶつ王国 園長)

事例報告者

モデレーター

池辺 祐介 (JAZA生物多様性委員会副委員長
秋吉台自然動物公園 園長)

■ 参加申込

受付期間：2019年10月9日(水)から11月21日(木)まで

定員：200名 (先着順)

申込方法：① Web 下記アドレスから申込フォームにご入力ください

<http://www.city.sapporo.jp/callcenter/uketsuke/index.html>

※ 「札幌市 お申し込み」で検索できます

② 電話 札幌市コールセンター (TEL：011-222-4894、8時～21時年中無休)

にお電話いただき、種保存会議参加申込希望、氏名、電話番号をお伝えください

